



AJU 愛実

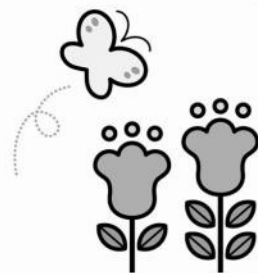
編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第36号 会報

定価：一部100円

「再び夢を！」／島しづ子	P1
事務所より	P2
大地の家のページ	P3～5
紙風船のページ	P6～8
「みんなの中で、自分が出せる」／南 寿樹	P9
寄付者名簿	P10



【紙風船】

紙風船の人形

大集合！



【大地の家】

春の運動会♪



再び夢を！

理事長 島 しづ子

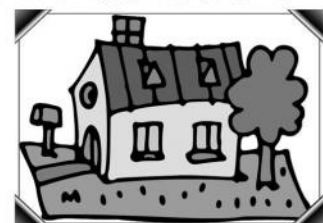
1987年は私にとって忘れることのできない年です。その年に同じような思いを持ったお母さんたちと、養護学校に通う娘や娘の友人たちの為に卒業後の居場所造りを模索し出したからです。2017年は志を頂いてから30年、紙風船は20年、非営利活動法人愛実の会は10周年を迎えました。3月26日には「紙風船20周年記念チャリティー公演」をします。4月30日にはべてるの家の向谷地生良さんを迎えて「愛実の会法人設立10周年公開講演会」を行います。

1987年当時は「職員を雇って、社会保険に入ってメンバーの生活を守りたい」は夢物語でした。今はあたりまえのことになりました。そして、メンバーの多くは「20歳までは生きられない」と宣告されていましたが、それを遥かに越えて元気に生き続けて生活介護を利用してきています。惜しくも20歳前にまた20歳前半で亡くなったメンバーの姿を写真で見るたびに「一生懸命生きたよね！」と思わされます。忘れがたい思い出をいっぱい残してくれました。

かつては昼間通う場所があればという願いでしたが、はじめてみるとショートステイなども必要となり、当初は無い知恵を絞り、費用を利用者負担してもらったり、アシスタントは半ばボランティアで働きながら形を整えて公的制度のモデル提供もしました。今はそういう事業がみな公的な支援を受けられるようになりました。かなり詳細な記録や請求事務もあってそれはそれで大変でもあります。最近ではメンバーたちの障がいの二次障害ともいえるべき不自由さの増加と、介助の中心であった家族に変化が起きています。30年前と変わったのは親の高齢化と親の病気です。メンバーたちの家庭における生活全般を担ってきたのはほとんどお母さんです。私自身も臨時でナイトケアやヘルプを行います。年を重ねて、このことを毎日続けている母親の苦労は計り知れないと思うばかりです。どの家庭も自宅にヘルパーに来てもらったり、ショートステイの利用が必要になっています。愛実の会とその姉妹法人である(有)たんぼぼは、居宅介護事業所としてヘルパー派遣をしていますし、(有)たんぼぼはショートステイ事業もしています。事業所としての問題は各家庭に派遣するヘルパーさんが足りないことです。圧倒的な人手不足でメンバーの需要に応えられないもどかしさを覚えるばかりです。今、福祉業界は慢性的な人手不足が悩みです。

にもかかわらず、夢を語りたいです。ささやかで切実な夢です。メンバーたちが地域で暮らしていけるよう、ご自宅にヘルパー派遣できる事業所の充実です。そしていつの日か親元から自立してアパート生活するメンバーたちが共同で住んで、そこにヘルパーが必要に応じて訪問し、夜は一緒に食事をするというホームを。

聖書に「あなたたちの息子と娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る」(使徒言行録2章17節b)とあります。だから夢を見ている。みなさまも夢を忘れないで！



「愛実の会」設立10周年記念講演会のお知らせ

愛実の会は「メンバーが地域で活動し、地域で主体的に暮らすこと」を目指して活動しています。初心を思い起こし、新たに歩み出すために「べてるの家」の向谷地さんにおいで頂きます。どうぞ、お誘い合わせてご参加ください。

□公開講演会 2017年4月30日 (日) 13:30~16:00

(講演・質疑応答 13:30~15:00 茶話会15:00~16:00)

□会場 東築地学区防災センター 名古屋市港区木場町9-9 愛実の会西隣

□講師 向谷地 生良 (むかいやち いくよし) さん

□入場無料

駐車場あります。カーナビで検索の際は、愛実の会052-693-5897

問合せは090-1754-0104 島まで

*講師プロフィール 青森県十和田市出身

1978年4月より北海道日高にある浦河赤十字病院医療社会事業部にソーシャルワーカーとして勤務。1979年4月より、町の古い教会(後のべてるの家)を、拠点として精神障害を体験したメンバーと共に、当事者の交流活動と共に共同生活(3年間)を開始。1984年4月に「浦河べてるの家」が発足。2001年に統合失調症爆発タイプの当事者とはじめた、自らのかかえる苦労を研究テーマとして取り上げ研究しあう「当事者研究」の活動は全国各地に広がり、浦河で全国大会も開催されている。「こころの時代」「バリバラ」などにも登場。2003年4月より、北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科で教鞭、浦河日赤病院ソーシャルワーカー(非常勤)、べてるの家の理事。

★認定NPO法人取得に向けて 寄付のお願い 年3,000円以上

年間3,000円×100人の寄付者が認定NPO取得の絶対条件になります

新年度の4月から、今までより更に公益性の高い法人を目指し、愛実の会では認定NPO法人の取得に向けて動き出します。「認定NPO法人」を取得すると次のような税制上の優遇を受けられるようになります。

①個人の寄付者は寄付控除が最大50%受けることができます。

★(寄付金額-2,000円)×50%=減税(所得税・住民税)

②他の法人からの寄付の場合、経費として損金に算入できる額が増えます。

③相続財産をご寄付いただいた場合、その分の相続税が非課税になります。

④愛実の会も法人として減税措置を受けることができます。

認定NPO法人を取得するためには、年3,000円以上の寄付者×100人を毎年維持していく必要があります。現在個人からの寄付者は年間100名前後で新たな寄付者を募っています。なお3,000円未満の寄付の場合は寄付控除が受けられませんので、できるだけ年3,000円以上のご寄付をお願いいたします。

愛実の会のさらなる発展を支えるおひとりとして、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ Tel.052-693-5897 愛実の会(戸田まで)



大地の家のページ

(P 3~4)

月に一度のクラブ活動！
各メンバーがそれぞれの曜日に分かれた3~4名の少人数での活動です。
少ない人数だからこそ、普段のデイとは違った関わりをメンバー&アシスタント共に楽しんでいただきたいと思います。
そんな1年間の活動を、曜日担当アシスタントに振り返ってもらいます♪



月曜クラブ



月曜クラブは笑顔が素敵な4名です。

イエローシートにも参加しましたが、少人数を生かしてまったりとした活動も多く取り入れました。

プランターでのハーブ園作りでは、レモンバーム・ミント・ワイルドストロベリーの3種類に挑戦しました。中でもレモンバームは特に大きく育ち、ハーブティーとして飲んだりレモンバーム入りのパウンドケーキを作ったりと大活躍でした。

寒い冬にはホットアイマスクを手作りしました。両手いっぱい的小豆をお手製の袋の中に入れレンジで温めるという簡単なものですが、小豆の蒸気を利用した天然のホットアイマスクはすぐには冷めない優れものです。そしてなにより、小豆の甘い香りが広がるので試したメンバー達もニコリ笑顔。まったりリラックスすることが出来ました。

長いようで短かった1年間、メンバー達にとって楽しい時間であったなら幸いです。ありがとうございました！

火曜クラブ



火曜クラブの発足初日は行動的なメンバーらしく、お花見&母校見学に行きました。港養護学校の桜の花道は見ごたえがあり、有意義な時間を過ごすことができました。

元気なイメージの火曜クラブですが、オリジナルの手作りクッションにも挑戦してみました。メンバーにもミシンを使ってもらい、本格的にスタート。それぞれ選んでもらった布を縫い合わせ、メンバーの顔写真を転写すると世界に一つだけのクッションの完成です。

初夏にはサンビーチ日光川に行き、波が出るプールで遊んできました。火曜クラブはプールの好きなメンバーが多く、プールに入るとすぐに笑顔になりました。

個性的なメンバーたちですが、同じクラブ活動の仲間として、認め合い譲り合ってこの1年を共に過ごしてきました。火曜クラブのみなさん、ありがとうございました。

水曜クラブ



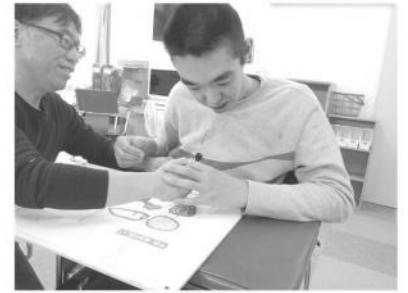
水曜クラブは、まったりとRさん、Jさん、Yさんの女性3人とアシスタントで過ごしました。

クラブ活動最初の活動は、身体も心もリラックスするためにお腹や手足のホットパックをしました。まだ寒い季節だったので、ホットパックをすると身体の緊張も少し緩んだり、メンバーとアシスタントとでお話しをしながらリラックスして過ごすことができました。

年末からは世界に一つだけのオリジナル時計作りをしました。既製品の時計を分解するところから始め、メンバーの作りたいイメージを聞きました。「お菓子」や「オシャレな街並み」、「お花畑」などのイメージを元にビーズなどで飾り付けていきます。完成すると、不思議と作ったメンバーにぴったりの時計が出来ていました。

月に1度の水曜クラブでしたが、毎回メンバーとアシスタントで楽しく過ごしていました。

木曜クラブ



木曜クラブのメンバーは男性3人の、皆さんとても個性豊かな方たちです。季節を感じられる活動も多く取り入れました。夏には白い台紙に夏をイメージした絵柄を描いたうちわ作り、オレンジを丸ごと使った冷たくて口当たりの良いゼリーをつくらしたりしました。また、クリスマス前にはペーパークラフトでサンタやトナカイのかわいい飾り作りをしました。

ハーブ作りにも挑戦しました。メンバーと一緒にハーブの苗を園芸店に買いに行き、それをプランターに植え、大きく育ったペパーミントで足浴をしました。部屋中に爽やかな香りが漂い、心も身体もポカポカになりました。

そのほかにも、本物そっくりのおせんべいを使ったバランスゲームやテーブルボーリングなど、少人数ならではの楽しみ方で、メンバーと向き合いながら、ゆったりとした時間を過ごしました。

金曜クラブ



金曜クラブ活動の特徴は運動と、ゆったり時間を交互に行い、楽しく過ごすことが出来ました。運動では主にボールを使った活動を中心にゲーム性のある活動。逆に創作活動で、のんびりした時間もありました。

メンバーも、活動よりもメンバーやアシスタントの行動を目で追って楽しむTさん、ボール遊びが大好きでボールを使う活動では1番張り切るKさん、何事にもマイペースなNさんと個性的なメンバー達です。

金曜クラブは4月初めのころは、ケーキ作りにチャレンジして失敗することもありましたが、おいしく頂いたりしました。

3月末は各クラブ活動の打ち上げがあります。金曜クラブは「カラオケ」に行きません。ランチ&カラオケで楽しい時間を過ごせればと思います。

メンバーのみなさん、1年間ありがとうございました。

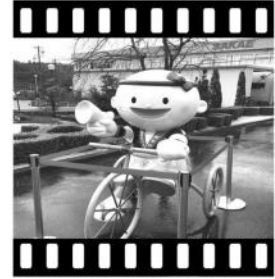
紙風船のページ

(P9~11)

「三寒四温」…そんな言葉を実感できるような気候が続きましたが、ようやく春の訪れです。創立20周年の様々な行事も無事終わりました。紙風船は次の夢に向かってメンバー・アシスタント共に試行錯誤しながら精進していきたいと思っています。



浜松さわやかグルメツアー 2017. 3. 2(木)



本年度最後のレクは名古屋を飛び出して浜松の街へ！浜松といえば？「うなぎ！」「ぎょうざ！」「フラワーパーク！」など期待いっぱいのイメージです。そんな中、静岡で有名な「さわやかハンバーグ」へ行ってみたいとの意見が出ました。名物

待ちました
~♪♪♪

げんこつハンバーグが美味しい、行列のできるお店のようです。

当日はあいにくの雨でしたが3台の車に分かれて3店舗でそれぞれにお楽しみ！

ひと口頬張るたびに「おいしい☆！」を連発するメンバーやパンにハンバーグをはさんでアレンジするメンバーなど、思い思いにご当地グルメを味わっていました。おなかがいっぱいになったメンバーは、もう一つのお楽しみ、うなぎパイファクトリーへ。生産ラインを回ったりお土産コーナーでのショッピング

を楽しみました。因みに、うなぎパイのキャッチフレーズ”夜のお菓子”という名前は「夕食後の一家団らんのひとときのお供に…」の気持ちからつけられたそうです！

雨も上がった帰り道、朝はかすんで見えなかった浜名湖が美しく輝いていました！



美味しくて
ほっぺが
(*^_^*) !



別腹ですね！



出来立ての味を…



サークル活動紹介

人形劇の稽古や公演に忙しくなってきた紙風船。時には好きなことをしてホッと息抜きしたいな、という意見から始まったサークル活動。現在3つのグループが月に一度楽しんでいきます。



美術サークル パステルコメット

絵を描いたり何かを造ったりする事が好きなメンバーが集まったサークル、その名も「パステルコメット」。アニメのキャラクターや風景、想像画またパソコンを使った塗り絵など、みんな思い思いの作品に取りくんでいます。時には美術館にも出かけて絵の勉強をしたり…

昨年10月には「全国障害者芸術・文化祭あいち大会」に参加し作品が中区役所に掲示されました。月一回の活動のため、1つの作品を仕上げるのに時間もかかりますが、出品するためみんな集中して取り組む姿はまさに芸術家でした！



ゲイジユツは
バクハツだ！



音楽サークル モンキー



ボクたちイケてる??

音楽が大好きな気の合う2人組で楽器に触ったり唄を歌ったりしています。なんと、去年YouTubeにも投稿しました！見事なエレキギターさばきとワイルドなボーカルの様子をぜひご覧くださいね！

「犬山ウルトラツアー」で検索☆

ただ今メンバー募集中です♪♪



まったりサークル

「まったりサークル」は自由にまったりとした時間を過ごそうよ、という気持ちからその名が付きました。お菓子作りやショッピング、カフェめぐりをしたりのんびりとぬり絵をしたり。カラオケボックスで歌合戦もします。お菓子を作ったらティータイムには「まったりカフェ」に他のメンバーをご招待しておすそわけ♪♪どんな時にも笑顔の絶えない楽しいサークルです。

楽しくカラオケ♪



お菓子作り



ありがとうございました！



3月26日(日)港文化小劇場での紙風船20周年記念チャリティ公演は、多くの方々のご理解とご協力を頂き、無事終了する事ができました。チャリティ募金のご協力にも感謝致します。紙風船のさらなる夢への挑戦のために、これからも皆様の応援をよろしくお願い致します。

【公演だより】

- 第217回 11月 6日(日) 東員町障がい児者を守る『ぼくたちにできること』
- 第218回 11月26日(土) 北なごやパペットフェスタ『ポンタとたっくん』
- 第219回 12月 3日(土) 日本福音ルーテル大垣教会『ポーちゃん』
- 第220回 12月 6日(火) 昭和区ハートフル講演会『ポーちゃん』
- 第221回 12月10日(土) 全国障がい者芸術文化祭『ポーちゃん』
- 第222回 12月17日(土) エゼル福祉会クリスマス会『ポーちゃん』
- 第223回 2月26日(日) 大府市社協ボランティアグループひまわり『ポーちゃん』



紙風船の想いを伝える

2月9日は名古屋市立矢田中学校の「福祉体験授業」の一環で公演をさせていただく予定でしたが当日の悪天候のため、急遽アシスタント2名で参加してきました。“福祉”についてわかりやすく話をした後、手話ソング「あなたが夜明けを上げる子どもたち」を一緒に歌ったりメンバーがどのように人形を動かしているのかをビデオで観てもらいました。また、メンバーの抱いている夢や希望を紹介。生徒さん、先生方に少しでも福祉に関心を持ってもらえたら幸せです。

【生徒さんへのアンケートの一部を紹介します】

- ・災害時に避難所で障がい者の居場所がないという話に胸が痛くなった。(被災地の現実のお話をしました)
- ・障がいを持っている人が頑張っていて自分も元気がもらえた。
- ・人々を幸せにする、その気持ちにすごく感動した。
- ・内容やセリフに笑えるところもあり「やってて楽しい」というメンバーの気持ちが伝わった。
- ・今日の話聞いて福祉や人形劇に興味があった！みんなの協力する姿に感動した。
- ・自分にも障がいのある兄がいた。今は亡くなってしまったけど 昔の楽しかった時を思い出しました。



がんばりました！



11月から12月は毎週のように公演がありメンバーもアシスタントもそれぞれの舞台に全力で取り組みました。体調管理にも各自で気を付けながら無事に乗り越える事ができました。本当にお疲れ様でした！

～公演依頼を募集しています～

- ☆1公演2万～（予算につきましてはご相談に応じます）
- ☆各地域のイベントや学校の福祉教育など、目的に合わせたプログラムを組むことができます。紙風船は、お子様から大人の方まで楽しめる、夢と希望と笑顔がいっぱいつまった人形劇をお届けすることを目指しています！
- ☆詳しくは「人形劇団紙風船」で検索！ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターをご覧ください。



みんなの中で、自分が出せる

南 寿樹

2月、雨の朝。稚子(高1)が自転車置き場で雨ガッパのしずくを払い、丁寧にたたんでいる。私が「おはよう和美さん」と声をかけると「あっ、おはようございます」少し驚いたように応える。和美というのは、文化祭(11月)で演じた創作劇での役名である。視線を合わせるのが苦手な稚子は斜め下を向き、照れたように笑う。劇のことを思い出しているのだろうか。

和美役は、不良の雄太の幼なじみで、おてんばの設定。転校生の奈美に向かって「雄太に関わらない方がいいわよ。バカがうつるから」と言い、雄太がちょっかいを出すと「やったわね。ちょっと待ちなさいよ」と言って追いかけてりする。稚子は本番、約200名もの観客の前で和美を堂々と演じた。

野田先生(担任)が「いやあ、稚子があんな大きな声で演じるなんて」と驚く。入学選考で面接を担当した鳥川先生が続く。「私も信じられない。稚子は中学生の時、ほとんど学校に行っていないんだよ。登校しても教室には入れず、支援員さんと別室で過ごしていたらしい。中学校の先生が(今の稚子を)見たら、別人だと思うだろうね」

この創作劇は、「自立活動」という授業(高等部3学年合同の縦割りグループ)の中で取り組んだものだった。活動内容として、生徒から「希望する活動」のアンケートを取った。ただ自立活動担当の私としては、選択肢の一つに「表現活動班(人形劇、演劇)」をあげたものの、(みんな表現が苦手なので、希望者は誰もいないのではないかと不安であった。だが8人もの生徒が希望してきた。稚子もその一人で、「人間関係でコミュニケーションができるようになりたい」と希望理由を書いてきた。(いつも人を避けているのに、心にはそんな願いがあったとは…)

私は「創作劇づくりはどうだろう」と提案した。長年取り組んできた人形劇で、「虚構の世界で心と体を解放することで、人は人間性を取り戻し、元気になれる」と実感してきたからだ。

みんなはのってきた。初日から構想づくり。黒板に自由に書いたアイデアを少しずつまとめて脚本ができていく。週に1時間の、同じ仲間との活動。まるで部活動のような感覚で信頼関係がゆるやかに形成されていく。稚子は、4~5月は意見も出さず、固まっていた。だが、6月になると自分から意見は言わないものの、仲間の提案に「それでいいと思います」「よくわかりません」などの感想が言えるようになった。7月に脚本が完成し、夏休みを終えた9月。初めての立ち稽古の時だった。

稚子が「(ちょっと、待ちなさいよ)のセリフはどんな感じで言ったらいいですか?」と質問してきた。(えっ、自分から質問してきた?)。その時、隣にいた先輩の公子(2年)が「こんな感じよ」と手本を示す。私、「そう、怒った感じで強く言うんだよ」。でも稚子は困っている。すると、担任の野田先生が言葉を添える。「稚子さんの生活に怒るなんてことなかったから、戸惑ってるのよね」。私、「そうか、そうだったんか…。でも演技だから、思いっきり怒っていいんだよ」という。そんなやりとりに、女装した幸司(3年)が「そうよ、みんな楽しんでいくのよ」と雰囲気盛り上げる。そしてコミカルな場面の練習を繰り返す。なんと、いつも能面のような稚子が笑っている。そんな、安心できる仲間と共に、心と体を開放しての練習の日々が続いた。そして、本番での別人のような演技。

稚子の感想。「高校での文化祭、演じる役は難しかったですけど、新鮮でとても良い経験になりました。劇の中の合唱は一体感がありました」私は、この「新鮮でとても良い経験」「一体感」を、深く受け止めたい。学校教育だからできる集団での活動。

—— 人は人に出会って、人格を形成していく。



【NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略) 2016年11月1日～2017年2月28日】

★寄付金

木村 睦子	野村 裕子	野崎 典子	大村 恵子	真木 芳子	伊藤 和昭
石原 艶子	奥山 喜正	西川 道子	坂田 昌子	石田 利彦	鶴崎 祥子
上泉 淳子	青山 鶴江	宮崎 正和	加藤 久雄	徳永 五郎	志村 澄江
水野 享好	伊藤 和子	佐藤 全弘	町田 玲子	橋本 直樹	川口 耕平
中根 汎信	長村 秀勝	深谷 節子	見木 靖美	金田 好美	三浦 定代
前田 栄子	山本 伸二	竹田 朋子	宮嶋 映子	小池 耕一	梅村 亜恵
田中 綏子	清水 陸子	阿部 健二	下村 徹嗣	小田 弘平	伊藤 秀章
石田 周介	柴田 京子	細田 広司	比企 敦子	有村 典子	武田 初代
寺田 仁計	小栗 和子	宇野 伸一	塚田 正昭	楽 有紀美	島 しづ子(複数回)
霜尾 閑子	楠本 啓子	藤井 幸子	中谷 塩子	藤原 信子	
矢口 由美子	成瀬 絵理子	津田 加代子	加藤 由美子	柏木 實	三木 一
岸野 奈奈子	早川 久美子	榎原 喜代子	榎本 久美江	吉田 弘	近藤 洋
川口 いづみ	梅津 ヨシ子	岩崎 千恵子	伊藤 あつ子	細川 拓	山中 高
溝口 キミ子	伊藤 まり子	古田 真喜子	加藤 真規子	松本 普	堤 肇
河合 みち子	吉岡 満智子	宇田 ゆき子	吉丸 あさ子	水戸 潔	
戸田 伊助・澄子	越前 武久・勝美	村上 貴久・裕子	黛 八郎・ナオミ		
佐藤 正幸・純子	加藤 明宏・朱美	唐澤 祐一・恵理子	志村 真・日高 伴子		
豊山教会	大野教会	御器所教会	浜松聖書集会	埼玉新生教会女性の会	
平塚YWCA	刈谷教会	上大岡教会	済美高等学校	信濃村教会バザー委員会	
東海教会	鳴海教会	各務原教会	名古屋新生教会	京都みぎわキリスト教会	
豊田教会	中京教会	南山幼稚園	在日大韓基督教会小倉教会	天白伝道所	
鈴鹿教会	中部学院大学宗教委員会		日本福音ルーテル復活教会	名古屋YWCA	
名古屋ワイズメンズクラブメネット会			日本キリスト改革派金沢教会		

★紙風船夢づくり

大村 恵子	牧野 眞保	宮原 祐子	木村 淑江	戸田 真二	数原 陽子
大坂 晴一	斉藤 充加	伊藤 暁子	浜嶋 一史	一條 敬子	潮田 則行
板倉 美恵子	長谷川 耕司	森永 富貴子	五十嵐 靖	富田 耀	竹山 徹
ぐるーぷびっくり箱	黒柳 公子	中森 由哉(複数回)			

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名(順不同・敬称略)】

★寄付金

松下 智恵子	吉谷 尚之(複数回)	塚田 高子	朝倉 知里	八事教会
滝村 美智子	中森 由哉(複数回)	渡井 秀雄	森 起美恵	アミ喫茶
聖天伝道所	岡崎茨坪伝道所	豊橋教会ひつじ会	在日大韓基督教会大阪教会女性会	

★物品寄付

藤 真知子	塚田 高子	宮嶋 映子	桐村 剛	ご協力ありがとうございました
-------	-------	-------	------	----------------

職員異動



【新人・正職アシスタント】

□古本 英明 （こもと ひであき）

「古本（ふるほん）」と書いて「古本（こもと）」です。

私は自分が入院した時にメンバー達のような方がいらっしゃって元気にしてもらいました。私も同じように皆さんを元気にできるように頑張ります。

【新人・正職アシスタント】

□上野 宗弘 （うえの むねひろ）

2月2日からお世話になっています上野です。趣味はヨーヨーと筋トレです。筋トレで鍛えた身体で皆さんのお役に立てれば幸いです。今後ともよろしくお願いします。

【新人・正職アシスタント】

□伊藤 晃子 （いとう あきこ）

2月14日に入社した伊藤と申します。この業界は初めてで毎日不安であります。精一杯頑張っていきます。宜しくお願いします。

【退職・ドライバー】

□岡 健介

長い間、お世話になりました。愛実の会での皆様との出会いによって、いろんなことに気づくことができましたように思います。ありがとうございました。

【退職・事務】

□吉澤 道子

週1回で働き始めた2008年から約9年、事務・給食で関わらせていただきました。メンバーさん・アシスタントさんとの出会いに感謝です。ありがとうございました。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形制作費、公演活動に関する費用とする）